

石巻市の復興まちづくり (第66回)

住まいの復興

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3月	4月	10月	11月	12月	3月	6月	9月
避難所開設 住宅が多数被災	仮設住宅入居開始 全ての避難所を閉鎖	新市街地地区の仮設住宅の閉鎖 市内沿岸部の一部を災害危険区域に指定	半島沿岸部高台住宅団地工事着工(先行1地区) 半島沿岸部高台住宅団地工事着工(先行2地区)	復興公営住宅(備前型)初の入居開始(新市街地) 復興公営住宅(備前型)初の入居開始(新市街地)	防災集団移転促進事業・復興公営住宅に関する事前登録開始 新市街地地区の仮設住宅の閉鎖	被災者自立再建促進プログラム策定 被災者自立再建促進プログラム策定	新市街地地区の仮設住宅の閉鎖 新市街地地区の仮設住宅の閉鎖

被災者自立再建促進プログラム策定
被災者自立再建促進プログラム策定

被災当時からこれまでの取り組み・出来事

これからの復興

仮設住宅・復興公営住宅

避難所は最大259カ所、避難者数は最大50,758人に達しました。

最大でプレハブ仮設住宅に16,789人、みなし仮設住宅に15,482人が入居しました。

復興公営住宅は、平成29年度末までに市街地部3,843戸、半島沿岸部426戸の整備を予定しています。

現在、仮設住宅の解体が進んでいます。仮設住宅跡地は、従来の使用方法に戻すほか、新たな土地利用を検討している場所もあります。

市街地

沿岸部は被災当時の市街地では、津波により多くの住宅が甚大な被害を受けました。

新市街地地区をはじめ6地区で新市街地の整備を行い、うち新市街地第二地区を除く5地区で被災された方の移転先となる住宅地を供給し、平成29年中に計画数1,360区画全ての宅地供給を完了しました。

また、既成市街地においても5地区で区画整理を行い、平成29年度末までに1,032区画の引き渡しを予定しています。

半島沿岸部

半島沿岸部では、集落ごとに高台や内陸に移転する団地の整備を急ぎました。

新市街地地区は、平成29年中に宅地供給が完了しました。また、新市街地第二地区では、平成30年2月に県合同庁舎が供用開始されました。

今後、各地で住まいを再建された方や再建を検討中の方に向けた支援として、再建した地域でのコミュニティ形成や各種手続き相談、再建方法を検討するための情報提供、健康支援などを行います。

北北地区

高台・内陸団地の整備は、河北地区の宅地引き渡し・復興公営住宅整備の終了をもって完了します。(平成30年8月予定)

産業の復興

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3月	11月	12月	2月	6月	4月	10月	12月
漁港、水産加工団地、商店、農	民間投資促進特区(ものづくり産業版)認定 仮設店舗街開設 仮設店舗街開設 仮設店舗街開設	石巻市まちづくり復興マラソン(仮設店舗街)開設 復興マラソン(仮設店舗街)開設	復興マラソン(仮設店舗街)開設 復興マラソン(仮設店舗街)開設	復興マラソン(仮設店舗街)開設 復興マラソン(仮設店舗街)開設	復興マラソン(仮設店舗街)開設 復興マラソン(仮設店舗街)開設	復興マラソン(仮設店舗街)開設 復興マラソン(仮設店舗街)開設	復興マラソン(仮設店舗街)開設 復興マラソン(仮設店舗街)開設

被災当時からこれまでの取り組み・出来事

これからの復興

魚市場・漁港施設

魚市場(石巻売場)は、高度衛生管理された日本最大級の市場として復旧しました。全面供用開始した平成27年には、水揚げ金額がほぼ震災前と同水準となりました。

魚市場(牡蠣売場)は、製氷冷蔵庫とともに鮎川浜に復旧しました。

農地・施設園芸

市全体の水田農地約20%に当たる1,771ヘクタールが冠水しました。

平成28年に長面地区で震災後初の作付けが行われ、現在ではほぼ復旧が完了しています。

平成28年8月に次世代施設園芸営農拠点工事が完了し、同年11月から出荷が開始されました。

平成29年4月に、北上地区で新たな特産品となるオリーブが定植されました。

工業・産業用地

石巻港をはじめ、沿岸部に立地していた事業所が甚大な被害を受けました。

平成24年度に操業再開した日本製紙機石巻工場をはじめ、被災した多くの企業が操業を再開しました。

被災事業者の移転先として、須江地区と不動町地区に新しい産業用地を整備しました。平成28年5月に須江産業用地、同年12月には不動町産業用地が完成しました。

市街地

現在、水産業の新たな担い手を確保するため「水産業担い手育成支援事業」を進めています。

また、引き続き市内各地の漁港復旧に取り組みます。

半島沿岸部

今春には、北上地区でさらに1,150本のオリーブ定植を予定しており、事業の拡大に向けた活動に取り組んでいます。

イベント

現在、市街地3地区(上釜南部、下釜南部、湊西)で産業用地の区画整理を進めています。

このコーナーは、今後の復興まちづくりに関する情報をお知らせします。今回は、東日本大震災から今までの7年間に石巻が歩んできた復興への取り組みとこれからの取り組みについて紹介します。

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3月	5月	12月	5月	4月	8月	1月	4月
多病院、福祉施設、学校等が被災	被災した全ての小中高等学校が、仮設や開閉り校舎で授業再開	仮設夜間急患センターが業務開始	市立病院が開設	市立病院が開設	市立病院が開設	市立病院が開設	市立病院が開設

被災当時からこれまでの取り組み・出来事

これからの復興

市立病院

市立病院と併設の夜間急患センターは、1階部分が壊滅的被害を受け、全ての医療機能が停止しました。

市立病院の仮設診療所を被災者支援として開設地区の仮設住宅団地に設置しました。

市立病院は平成26年に着工し、機材搬入等を終え平成28年9月に開業しました。

石巻十字病院敷地内に夜間急患センターが開業しました。

保育施設

市立保育所29カ所中、全壊等により9カ所の保育所が休止しました。

震災直後は、開閉りや仮設となった保育施設もありました。

震災直後は、開閉りや仮設となった保育施設もありました。

小・中・高等学校

市立小学校、中学校、高等学校15校が被災しました。

一部の小・中学校で統合が行われ、北上地区では橋浦・吉浜・相川小学校が統合し、北上小学校として開校しました。

市立女子商業高等学校と市立女子高等学校が統合し、北上高等学校として開校しました。

平成29年3月に渡波中学校、7月に雄勝小学校・雄勝中学校の移転新築校舎が完成しました。

北上小学校

北上小学校は、平成31年度中の完成を目標に北上にこり地区内への移転新築を進めます。

医療・福祉・教育の再生

観光の復興

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3月	11月	7月	10月	11月	12月	5月	7月
多くの観光施設が被災	石ノ森萬画館再開 石ノ森萬画館再開 石ノ森萬画館再開						

被災当時からこれまでの取り組み・出来事

これからの復興

市街地

震災により、市街地沿岸の観光施設は甚大な被害を受けました。

石ノ森萬画館は、平成24年11月にリニューアルして再開しました。

中心部にぎわいの拠点として期待される「いしのみき元気いちば」が平成29年6月にオープンしました。

半島沿岸部

半島沿岸部の観光施設は、津波により甚大な被害を受け、休館を余儀なくされました。

鮎川漁港離島発着所は、岸壁が復旧され、浮き桟橋から乗降できるようになりました。

サン・ファン館は、復元船サンファンパティスタが修復され、平成25年11月に再開しました。

北上観光物産交流センターが平成30年2月にオープンしました。観光情報の発信や特産物の販売等を行います。

イベント

川開き祭りのメイン会場となる立町地区も、大きな被害を受けました。

平成25年度から毎年開催しており、平成28年度には牡蠣半島コース、平成29年度には奥松島コースが新設されました。

平成27年6月から、いしのみきシーサイドマラソンから名称を変え、毎年開催しています。

Reborn-Art Festival「真夜中に咲く花(華開生)」<現代アート><音楽><食>の総合芸術祭Reborn-Art Festival2017が開業されました。

観光

北上観光物産交流センターが平成30年2月にオープンしました。観光情報の発信や特産物の販売等を行います。

今後、いしのみき元気いちばとともにまちのぎわいの拠点となる「かわまち交流センター」や、中瀬公園の整備に取り組めます。

平成30年度は、大型客船ダイヤモンドワールドが石巻港に寄港し、多くの外国人観光客が来訪します。